

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成31年2月28日現在

今月の重点活動

■いちご **GAP現地調査実施**

2月19日、JAぎふ岐阜市いちご部会の会員24名（合渡、木田支部）を対象に、独自GAP現地調査を実施した。

GAPに取り組む会員の意識は年々高まっており、改善事項は少なくなっているものの、農薬の飛散・漏出防止のための対策など不十分な項目も見受けられた。

また、部会役員2名を対象に、県GAPの農場管理基準項目に基づき、試験的に現地調査も実施した。

今後、農業普及課では、調査結果を取りまとめ、改善が必要な項目の対策などを部会役員やJA担当者とともに検討することとしている。



【GAP現地調査の様子】

（園芸産地支援第一係・三和浩一）

新たなブランドづくり

■にんじん **第4回役員会開催**

各務原市園芸振興会にんじん部会は、2月13日に、JAぎふ鶴沼支店において、本年度第4回役員会を開催した。

部長はじめ各地区役員6名、JAぎふ鶴沼支店、TAC、選果場担当者が出席し、本年度産出荷反省会の開催、部会規約の改正、PRイベントへの対応等について確認・検討した後、農業普及課から、近年の当該産地状況について情報提供等を行った。

同部会では、一層の消費拡大、品質向上・選果場運営の円滑化に向けた新たな委員の設置も決定し、産地活性化に向けた部会としての今後の新たな動きも伺えた。

農業普及課では、にんじん選果場稼動3年目となる来年度産の春夏、冬にんじんの高品質・安定生産・安定出荷に向けた支援を継続する。



【役員会の様子】

（地域支援第二係・近藤 徹）

多様な担い手づくり

■えだまめ・ほうれんそう他 **次世代人材投資資金就農状況調査実施**

2月5日、岐阜市のえだまめ、ほうれんそう等を栽培している新規就農者5戸（内1名は別日に実施）を対象に、農業次世代人材投資資金の現地確認が行われた。

生産者から就農状況や目標達成状況、課題などの説明があり、関係機関を交えて検討を行った。

農業普及課は、今後も関係機関と連携し、新規就農者の経営の安定化に向け、技術指導や情報提供を行う予定である。



【現地確認の様子】

（園芸産地支援第一係・川部 知）

売れるブランドづくり

■ブロッコリー **育苗反省会開催**

2月4日に、JAぎふ黒野農産物流通センターにおいて、秋冬ブロッコリーの育苗反省会が開催された。

秋冬ブロッコリーの苗は、JAが播種し、管理を花生産者等に委託する形で生産されており、本年度の苗の管理状況や購入先からの評価等を関係者間で情報共有し、問題点の洗い出しと問題改善のための対策について検討した。

品質が年々低下しているとの評価も聞かれ、本年度も徒長や欠株でのクレームが寄せられており、苗の品質向上を目指し、JAでの播種計画の立て方や播種方法の見直しの他、生産者間の情報共有により管理技術の向上を図ることとなった。

農業普及課では、今後も高品質苗の生産に向けて支援していく。

(地域支援第一係・鈴木郁子)

■だいこん 春だいこん目揃会開催

2月22日、JAぎふ則武支店において、則武・鷺山地区の春だいこんの目揃会が開催された。市場関係者やJA全農岐阜の担当者から、岐阜市場への入荷状況などの情報提供があった。

その後の目揃会では、出荷規格表の確認や選果・選別の徹底が行われ、品質の良いだいこんを出荷していくことを確認した。今後、島地区でも春だいこんの目揃会が行われ、3月上中旬には出荷のピークとなる予想である。

農業普及課からは、病虫害防除や選果・選別の徹底、GAP点検項目の遵守などの指導を行った。



【目揃会の様子】

(園芸産地支援第一係・高橋幸蔵)

■いちご 糸貫苺技術部会勉強会開催

2月18日、糸貫苺技術部会が、第1回の勉強会を開催した。

最初に、農業技術センター病理昆虫部研究員から、「微小害虫の防除対策」と題して、アザミウマ類、ハダニ類の防除について講演があった。アザミウマ類は秋の防除や薬剤選択の重要性、ハダニ類は育苗期の天敵による防除を主に説明があった。両害虫とも、イチゴ栽培では毎年課題となっていることから、生産者の関心も高く、講演後に質問が多く出された。

農業普及課からは、現在の生育状況や今後の栽培管理のポイントについて説明した。糸貫苺技術部会では、これまでも新技術を積極的に導入しており、農業普及課では、今後も部会活動の支援を行っていく。



【勉強会の様子】

(園芸産地支援第一係・菊井裕人)

■カキ 「ねおスイート」剪定講習会開催

2月8日、岐阜市かき共販振興会が新品種「ねおスイート」栽培者5名を対象に、苗木剪定講習会・ほ場巡回を行った。

ねおスイートは、平成28年産から「天下富舞」の商標により試験販売を行っており、農業普及課でも、栽培特性に関する調査を継続し、新品種の普及に向けた取り組みを支援している。

岐阜市には、現在2年目の苗木166本が導入され、この段階としては順調な生育を示しており、数年後の出荷開始が期待されている。



【講習会風景】

(園芸産地支援第二係・西垣 孝)

■(有)天湖森いじらぎふクリーン農産物生産部会 研修会開催

2月12日、伊自良中央公民館において、(有)天湖森いじらぎふクリーン農産物生産部会が研修会を開催した。農業普及課からは、生産登録品目であるスイートコーン他7品目の栽培ポイントや、栽培履歴の記入方法について説明した。

今後も、農業普及課では、ぎふクリーン農業の登録品目と直売所での売れ筋品目を対象に、作付前に研修会を行い、品質向上と販売量の増加を目指して支援していく。

(地域支援第三係・宮木英有)